

学校タイムズ

令和5年11月16日
新潟市立大野小学校
第7号

HP <http://www.ohno-e.city-niigata.ed.jp/>

「どうせむり」からの脱却

校長 片山 敏郎

「校長先生の尊敬する人は誰でしょう」11月全校朝会で私はそう問いかけました。「1 ユーチューバーのヒカキン、2 iPad を作ったスティーブ・ジョブズ、3 電気屋さんの植松努さん」。多くの子供たちが、2のスティーブ・ジョブズに手を挙げました。「正解は、3の植松努さんです!」「えー?! なんで?」どうしたことなのか知りたいという雰囲気になりました。

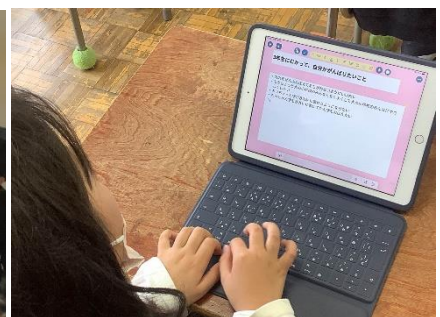
植松努さんは、植松電機という従業員20人ほどの小さな会社の社長です。そんな自分の会社でロケットを作って飛ばしてしまっただけすごい人です。ロケットを飛ばすのに成功するまでには、たくさんの人から、「どうせむり」と言われ続けたそうです。植松さんは言います。「『どうせむり』という言葉は、人の元気と可能性を奪います。自分に向けると、自分の可能性を奪ってしまいます。だから、『どうせむり』という言葉はこの社会から無くしたいのです」。

そう訴える植松さんのプレゼンは、YouTubeで750万回も再生されています。私は、そのプレゼンを見て、大野小の6年生を思い出しました。

今回150周年記念事業で6年生が取り組んだ「丸池プロジェクト」では、全校アンケート上位の鯉と亀と金魚と一緒に飼うのが難しいという問題がありました。けれども、6年生は、そこで「どうせむり」と思わず、「専門家ならなんとかよい方法が分かるかもしれない」とマリンピアの方に取材し、大きさや種類などの制約条件を意識することで一緒に飼えるということを知りました。そして、3種類の魚の共生を実現させたのです。

6年生が「どうせむり」と思って諦めたら、今の丸池はありません。子供たちは、毎朝、鯉や亀に餌をやるのを楽しみに丸池の周りに集まります。この素晴らしい姿は、6年生が、「どうせむり」とあきらめず、願いの実現に向けて粘り強く取り組んだ成果です。

大野小学校は、「どうせむり」から脱却し、伝統の基盤の上に、未来を拓く新しい学校像を目指しています。教育DXでの徹底した働き方改革や様々な工夫で生み出した時間を用いて、子どもが主語の授業改革を進めます。

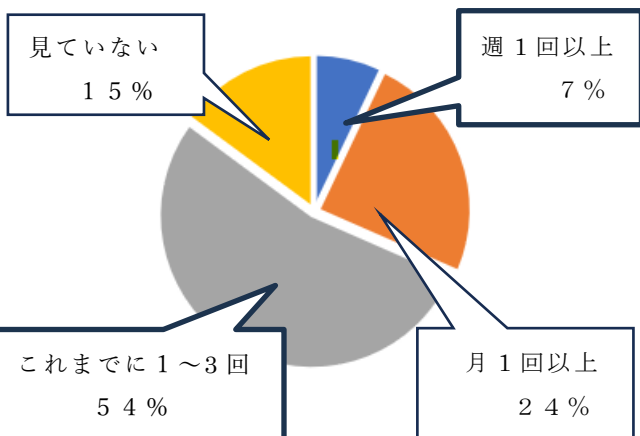


令和5年度 前期学校評価集計結果より

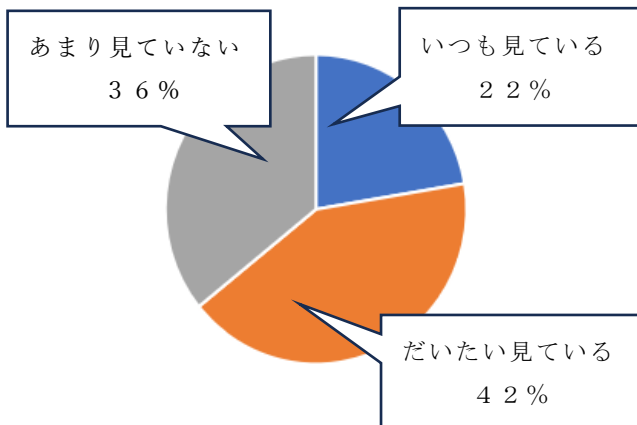
9月に、大野小学校の教育活動についてのアンケート（前期学校評価）を実施しました。集計結果をお知らせします。この結果をもとに、後期の教育活動の充実を図り、さらによりよい大野小学校を目指していきます。

【保護者アンケートより】

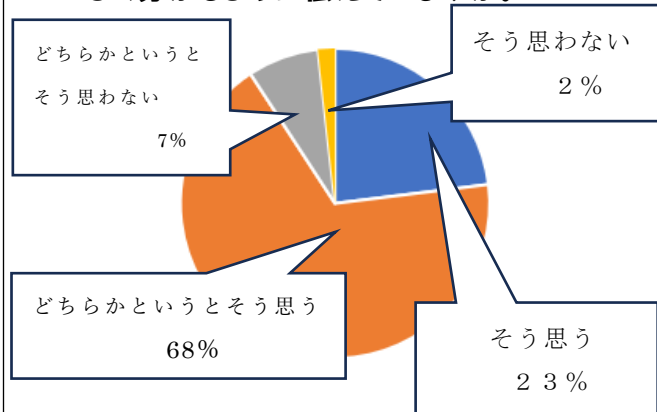
【1】(教育活動の広報)今年度どれくらいホームページをご覧になりましたか。



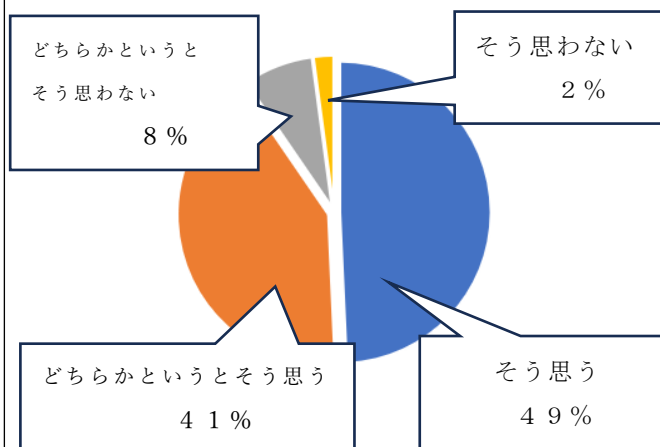
【2】お子さんのタブレットで情報をどのくらいの頻度でご覧になられていますか。



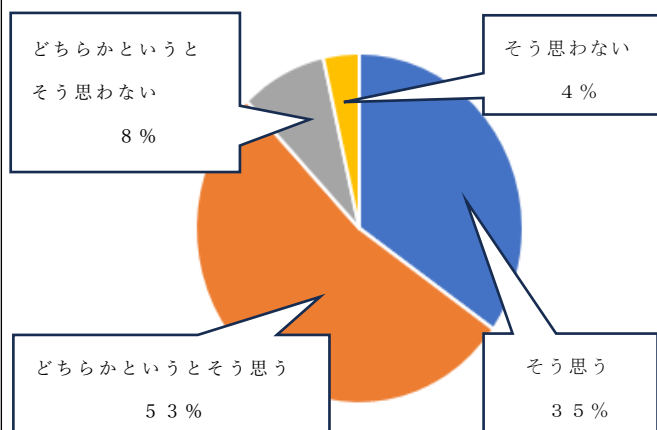
【3】学校は、ホームページ、学校タイムス、配信メール等を通して、学校の取組や考え方がよく分かるように伝えていますか。



【4】お子さんは学校が楽しいと感じていますか。



【5】iPadを活用した授業を展開していますが、子供の学びを深めることに有効に働いていると思えますか。



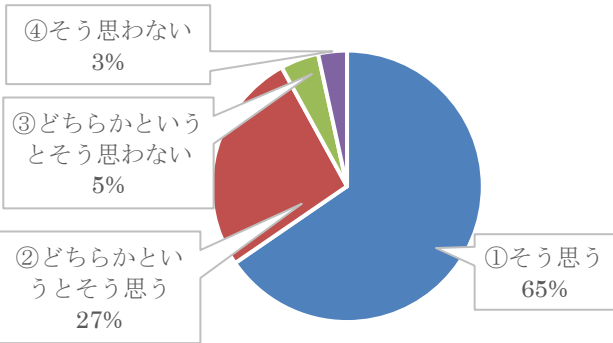
★学校の広報活動について

①「学校の取組や考え方がよく分かる」では、肯定的評価91%と高い評価をいただきました。学校のホームページは、今年度月平均して6回以上の更新をしており、タイムリーに学校の様子をお知らせできるよう努めております。今後もご期待ください。また、月予定や療養解除届など必要な書類をすぐ見たり、ダウンロードできるようになったりしております。ホームページをこれからもご活用ください。

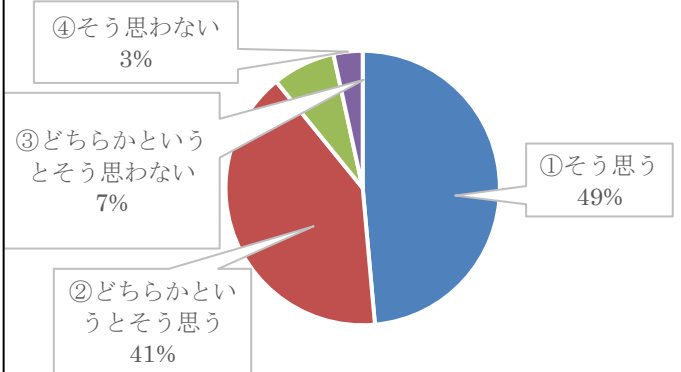
②お便りの電子データが届いたかどうか、分かりにくいとのご意見をいただきました。これまでは、各学級からの連絡で配信したことをお伝えしてまいりましたが、ご意見を受けて、全校に関わるお便りに関して、安心メールでお伝えするなど方法を改善しました。

【児童アンケートより】

1 学校生活は楽しいです。



2 自分にはよいところがあります。



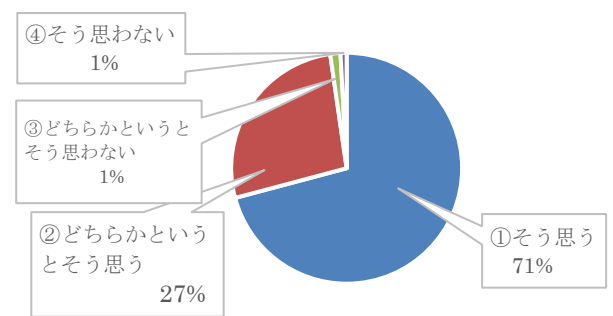
大野小学校では、今年度「教育DXで自立した学習者が育つ『わくわくする学校』」を目指して教育活動を進めております。特に、10月21日に行われた150周年記念式典では、保護者の皆様や地域の方々のご協力のもと、学校のシンボルの一つとなった丸池を復活させるプロジェクトを子供たちが主役となって行いました。

1年生が描いた生き物の絵が池を飾り、2年生は全校のアンケートをとって亀の名前を決め、3年生は、黒埼の名産である茶豆の学習を生かして祝菓の準備をし、4年生は記念の歌とスローガンで式典を盛り上げました。5年生は、150周年の歴史をまとめ工夫した発表を行い、6年生は全校をリードしながら丸池の復活を成し遂げました。

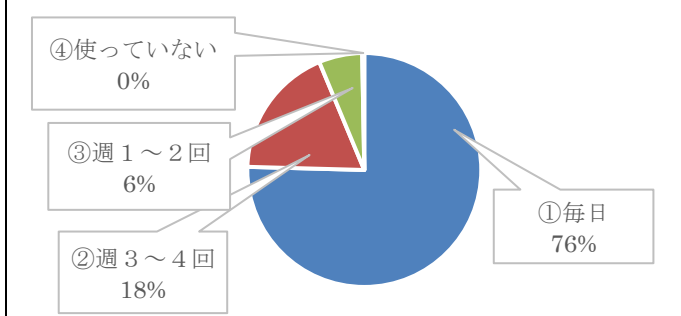
全校総掛かりで大きな目標に向かっていくこと、大きな成功の中に自分が役立っていることを実感し、達成感を得られるようにしていくことが、子供たちの「学校は楽しいです」「自分にはよいところがあります」の肯定的評価につながったのではないかと思います。

しかし一部には、前向きな気持ちになれず、悩んでいたり不安な思いを抱えていたりする人もいます。全職員で、子供たちの声や思いを大切にしながら、授業を始めとした様々な教育活動を行ってまいります。そして、誰もが安心して過ごせるあたたかな学級、学校づくりを推進してまいります。

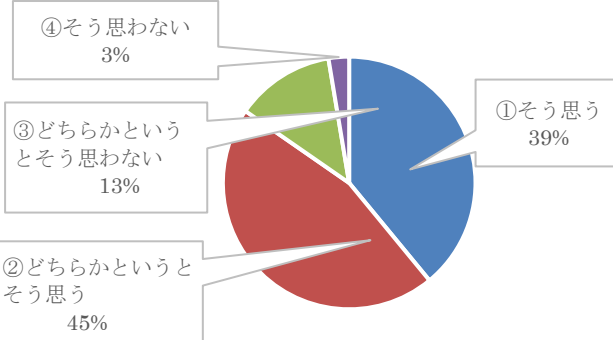
3 学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。



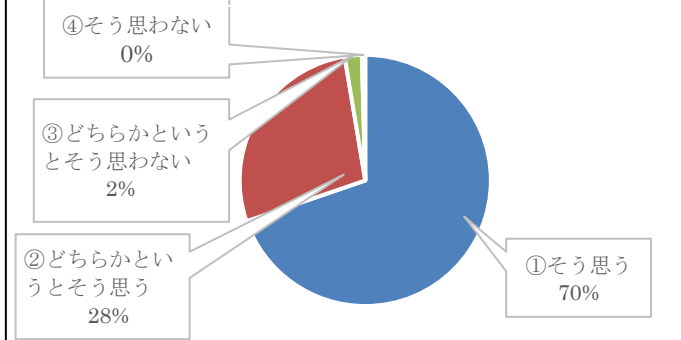
4 授業でiPadなどのICTをどのくらい使用しましたか。



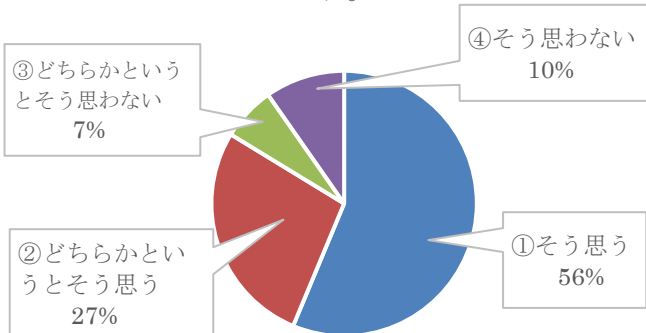
5 自らの課題を解決するために、自分で選択してiPadを使っている。(3年生以上)



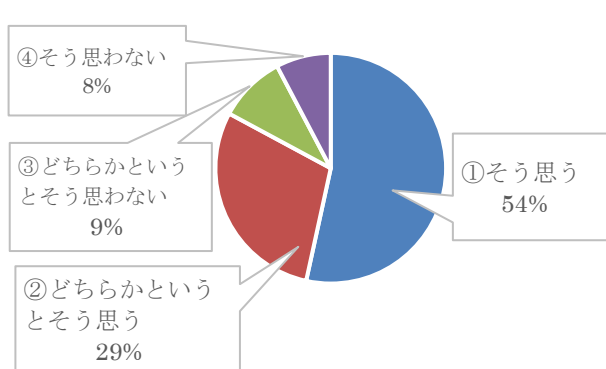
6 iPadを使った学習は、学びを深めることに役立っている。(3年生以上)



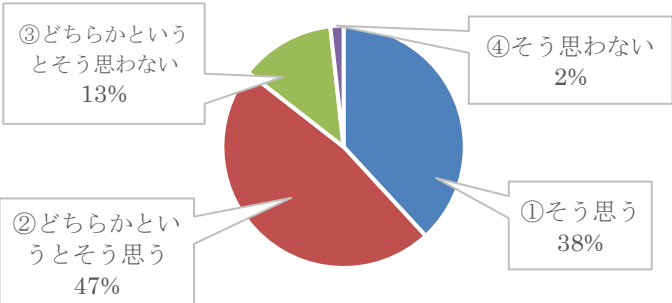
7 タイピングを早く打てるようになってきています。



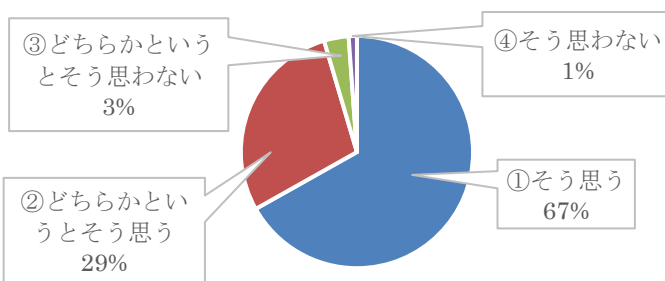
8 家庭学習でも、iPadを活用しています。



9 授業で、自分で考えて課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています。(3年生以上)



10 iPadで友達と考えを交流することで、新しい考えに気づいたり、よりよいやり方がわかってたりしました。



大野小学校では、タブレット端末等の ICT を授業の中で活用することで、一人一人の力を伸ばす、考えを交流し合い学びを深めることを目指しております。

授業でタブレットを利活用したり、2年生以上はタイピングにも挑戦したりしながら、一人一人が情報活用能力を高めており、その成果が表れてきました。タブレットを通して、多くの友達の考えを交流させたり、協力して課題解決に向かったりすることもできました。

また、これまでの授業では、一斉授業の中で先生から教えられることを聞くというスタイルが一般的でしたが、今年度は、子供たちが自分で考え、自分で選択し学んでいける場を授業の中で設けています。例えば、自分で課題を選んだり、学習の方法（調べ方やまとめ方）を選んだり、学習の形態（一人で調べる、グループで協力する等）を選んだり、ということです。「自分で考えて課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています」の肯定的評価が85%あり、その成果が表れつつあると捉えております。今後も、子供たち、一人一人が自分の追求したいことを選び、進んで学習に取り組んでいけるよう支援してまいります。